

## 「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催しました

徳島労働局は、11月に実施した「過重労働解消キャンペーン」の一環として、令和3年11月18日（木）に、徳島大学常三島キャンパスにある地域連携大ホール（けやきホール）において、「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催しました。



（主催者挨拶）徳島労働局松原労働基準部長

シンポジウムでは、徳島労働局松原労働基準部長から主催者を代表して挨拶し、五十嵐監督課長から過労死等防止対策、徳島労働局管内の過重労働対策の実施状況の報告を行ったほか、東京過労死弁護団幹事長も務める 尾林 芳匡 弁護士より「過労死の実情と求められる防止策」と題した基調講演をいただきました。

### 基調講演



（基調講演）尾山弁護士

厚生労働省  
Tokushima Prefecture

# 過労死等 防止対策推進 シンポジウム

過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会へ

近年、働き過ぎやパワーハラスメント等の労働問題によって多くの方の命や心身の健康が損なわれ深刻な社会問題となっています。本シンポジウムでは有識者や過労死で亡くなった方のご遺族にもご意見をいただき、過労死等の現状や課題、防止対策について探ります。

**参加無料**  
事前申込

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

**日時** 2021年11月18日(木)  
13:00~15:10 (受付12:30~)

**会場** 徳島大学 地域連携プラザ 2F  
地域連携大ホール (けやきホール)  
(徳島市常三島1丁目17番1号地)

**基調講演**  
「過労死の実情と求められる防止策」  
八王子弁護士事務所 尾林 芳匡 氏

※感染症拡大の状況により会場が変更になります。変更があった場合には、事務局よりご連絡いたします。

新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、実施いたします。今後の感染状況により、参加者を制限するなど、開催を断って実施する場合があります。参加には、事前申込みが必要です。感染症拡大の状況により、開催方法が変更になる場合がございます。最新の開催情報ホームページにてご確認ください。

過労死等防止対策推進シンポジウム 検索

主催：厚生労働省  
後援：徳島県、徳島市  
協力：過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を有する家族の会、過労死弁護団全国連絡会

スマートフォンでQRコードを  
読み込んで下さい。

## 過労死遺族の声

過労死遺族の声として、旧木頭村助役の過労自殺事案の遺族である藤田示子さん、藤田恭嗣さん親子、北海道過労死を考える家族の会の村山百合子さんから講演いただきました。

藤田示さんは、大切な家族を残して逝くことはどれほど悔しく無念であっただろうかと話され、

藤田恭嗣さんは、「父親を亡くしたあと、家長としてどう生きていくべきかを考え、母親に寂しい思いをさせないために頑張ってきた。「仕事のために死ぬ」という考えは古い。会社も社会も自分も変わらないといけない。そこで一生頑張らないといけないということはない。逃げる勇気も、ひとつの武器として持つことが大切だ。」と話されました。

また、村山百合子さんは、「過労死、過労自殺は、いつ、誰に起きるか分からない。仕事を辞める勇気を持ってほしい。相談する窓口はたくさんある。」と話されました。

シンポジウムには別会場を含め、学生、一般併せて約 170 名の参加があり、テレビ・新聞でも報道されました。



(過労死遺族の声) 藤田恭嗣さん